



- 自学・自立
- 思いやり・感謝
- 鍛錬

## 松溪中生の成長を願いつつ

副校長 田崎 秀雄

### —松溪中の運動会を通して—

5月後半は毎日のように天気を気にしていましたが、6月1日の運動会当日は天気に恵まれ、第76回運動会を無事に行うことができました。当日は、多くの保護者や来賓の皆様に参加いただき、ありがとうございました。皆様の温かな励ましや応援のおかげで、生徒たちもこれまでで最高の力を発揮することが出来ました。

松溪中学校の運動会はこの4月に本校に着任した私にとって初めてだったので、どんな感じなのだろうかととても楽しみにしていました。

一人一人が競技に懸命に取り組むのももちろんのこと、他の競技者に対しても熱い応援や拍手を送る姿をたくさん見ることができました。また、係活動など自分に任された役割を果たすために一生懸命に取り組む様子も見られ、とても嬉しく思い、頼もしさも感じました。

このような充実した運動会を行うことができたのも、当日までの実行委員の頑張りや、最高学年であり松溪中学校での最後の運動会を迎える3年生たちの強い思いがあったからだと感じます。実行委員と有志で作上げた『応援団』も、3年生全員で完成させた『よさこいソーラン』も、見ていて胸に迫るものがある見事な出来でした。感動しました。3年生の熱い思いは1・2年生の後輩たちにも伝わったことと思います。

各学年の全員リレーと学年種目も素晴らしかったです。中学生が心を合わせ最後までひたむきに取り組む姿は、それを見ていた周りの人々

の心も動かし、感動を与えたことでしょう。

運動会閉会式の講評でも話しましたが、学校行事には大きな目的があります。その大きな目的の1つは、学校生活を今以上により良くすること、2つめは生徒一人一人が今以上に成長することです。

今回の運動会で考えると、当日の頑張りはもちろんのこと、この日に向かってクラススローガンを考えたり、応援マスコットを作成したり、クラスの勝利に向かって全員で相談したり、個人種目の練習にも力を入れたり、全ての松溪中生がいろいろな取組をしてきました。生徒が運動会後に書いた感想文を読むと、勝ち負けや順位のみならず、クラス全員で頑張ったことや、実行委員や係の仕事に懸命に取り組んだこと、たくさんの応援をしたこと、周りから励まされて嬉しかったことなど、心の温まることがたくさん書かれていました。

その全てが、これからのより良い生活に活かされ、生徒一人一人の成長につながっていくと感じました。今回の運動会では二つの大きな目的を達成することができたと思います。これからの松溪中生のますますの成長が楽しみになった、大成功の運動会でした。

最後になりましたが、受付や駐輪場の整理、写真撮影等を担当していただいたPTAの皆様、そして、ご理解とご協力をいただいた保護者や地域の皆様に深く感謝と御礼を申し上げます。



青空と松溪深紅の3年生